

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4611		
科目名	危機管理特殊研究 1		
担当教員	茂田 忠良		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	金 2		
講義室	1004	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し 利用することができる。</p> <p>DP4-F [探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答える ための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP3-G [状況把握力・判断力] 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する 集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。</p> <p>DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>DP6-K [表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。</p> <p>DP7-L [協働力・牽引力] 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。</p> <p>DP8-M [省察力] 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連</p> <p>E1 学識と専門技能 (10%)</p> <p>F1 探求と論拠 (15%)</p> <p>G1 状況把握 (10%)</p> <p>I1 理解・分析と読解 (10%)</p> <p>K1 ライティング・コミュニケーション (15%)</p> <p>K2 オーラル・コミュニケーション (15%)</p> <p>L1 チームワーク (15%)</p> <p>M1 統合的・応用的学修 (10%)</p>		
教員の実務経験	<p>警察庁採用 I 種 (現総合職) 職員として34年余の警察官や公務員としての実務経験を有し、その中で、県警察本部長などの立場で様々な危機的状況、謂わば「修羅場」を経験してきました。そこで、警察官を職業の選択肢としている学生を念頭に、体験を踏まえて警察業務を教示すると共に、危機的状況における対処で最も重要な「即座の判断力」を養成するべく、教授します。(第1~15回。特に、第2、3、7、8、11、14回)</p>		
成績ターゲット区分	<p>■ 成績ターゲット：能力開発の目標ステージとの対応</p> <p>3 発展期 ~ 4 定着期</p>		
科目概要・キーワード	<p>危機管理に関する専門的な問題解決のために必要な知識やスキルを身に付けるための指導を行います。学生個人のキャリア形成にもつながるよう、学生自身が危機管理に関する具体的な</p>		

	<p>業務、資格などに関する専門的な研究を行い、実務教員が中心となり実践的な指導を行います。担当する実務教員が、自らの実務経験に基づいたテーマの科目を設定し、学生が自らのキャリア形成に役立つ科目を選択する。危機管理に関する知識や教養を養うだけでなく、危機管理において必須となるコーディネート、マネジメントに必要な調整能力を身に付けることを目標とします。ここでは、危機管理に関する実務についての知識を修得するための基礎的な指導を行います。</p> <p>授業形態は演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（ライブ型）を取り入れます。</p> <p>■キーワード： 危機対処、警察、日本</p>						
<p>授業の趣旨</p>	<p>■ 副題 警察官ほか日本人として必要な「人間の軸」づくり ～職業としての警察を理解する～</p> <p>■ 授業の目的 危機管理に関する業務である警察活動の実態に関して、正確且つ十分な知識を習得する。同時に、読書力、作文力、会議での発言力を身に付ける。</p> <p>■ 授業のポイント 警察に関する小説・体験記・回顧録などの課題本を事前に読んで、感想文を提出すると共に討論を行う。その他、現職警察官の講演、警察施設訪問、教授の講義（体験談等）などを受けて、討論を行う。</p>						
<p>総合到達目標</p>	<p>■ 警察活動の実態に関して、正確且つ十分な知識を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交番、駐在所などの警察官勤務の実態について説明できるようになる。 ・ 大災害発生時の警察官の活動について説明できるようになる。 ・ 近代警察の創設者である川路利良大警視の人物像について説明できるようになる。 ・ 警察官にとっての殉職の意味を説明できるようになる。 ・ 社会における職業としての警察の意義を説明できるようになる。 <p>■ 読書力、作文力、会議での発言力を身に付ける。</p>						
<p>成績評価方法</p>	<p>■ レポート（感想文）8回（50%）：適用ルーブリックE1・F1・G1・I1・K1・M1 （評価の観点）課題本の読書を基に、論理的で明晰な文章が書けているか、を中心に評価します。 （フィードバック方法）その都度添削して返還します。</p> <p>■ 授業参加度（発言等）（50%）：適用ルーブリックE1・F1・G1・I1・K2・L1・M1 （評価の観点）課題本を読んだ上で、或いは、現職警察官の講演や教授の講義（体験談等）を受けた上で、自分の意見を積極的・論理的に発言出来ているか、を中心に評価します。 （フィードバック方法）授業のその場で、フィードバックします。 ディスタンスラーニングを取り入れる結果、成績評価の方法と割合を変更する場合は、改めて連絡します（ポータルを使用するレポート、リアクションペーパーなどを使用します）。</p>						
<p>履修条件</p>	<p>特にありません。但し、警察官や警察職員を志望していること、又は志望対象職業の一つとしていることが望ましい。</p>						
<p>履修上の注意点</p>							
<p>授業内容</p>	<p>各回の演習の実際については、研究生の能力、要望、研究の進度等を勘案して、柔軟に対応します。</p> <table border="1" data-bbox="464 1451 1487 2157"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 1451 517 1496">回</th> <th data-bbox="517 1451 1487 1496">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 1496 517 1865">1</td> <td data-bbox="517 1496 1487 1865"> <p>①授業テーマ 導入</p> <p>②授業内容 教員と研究生全員が自己紹介し、それぞれ抱負を述べる。教員から、当授業の進め方、何を学ぶか、どのように研究を進めるか、評価方法について説明します。（E1・F1・G1・I1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（210分） 本特殊研究で何を学修するかを考える。また、課題本を読み始める。</p> <p>④復習（30分） 授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えられるポイントとこれに対する自分の感想をノートにまとめる。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1865 517 2157">2</td> <td data-bbox="517 1865 1487 2157"> <p>①授業テーマ 乃南アサ著『ボクの町』</p> <p>②授業内容 本書について、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べ合う。警察学校を卒業し警察署に配置された青年警察官の活動について説明できるようになる。（E1・F1・G1・I1・K1・K2・L1・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて、新任警察官の勤務の特色について説明します。</p> <p>③予習（240分）</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>①授業テーマ 導入</p> <p>②授業内容 教員と研究生全員が自己紹介し、それぞれ抱負を述べる。教員から、当授業の進め方、何を学ぶか、どのように研究を進めるか、評価方法について説明します。（E1・F1・G1・I1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（210分） 本特殊研究で何を学修するかを考える。また、課題本を読み始める。</p> <p>④復習（30分） 授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えられるポイントとこれに対する自分の感想をノートにまとめる。</p>	2	<p>①授業テーマ 乃南アサ著『ボクの町』</p> <p>②授業内容 本書について、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べ合う。警察学校を卒業し警察署に配置された青年警察官の活動について説明できるようになる。（E1・F1・G1・I1・K1・K2・L1・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて、新任警察官の勤務の特色について説明します。</p> <p>③予習（240分）</p>
回	内容						
1	<p>①授業テーマ 導入</p> <p>②授業内容 教員と研究生全員が自己紹介し、それぞれ抱負を述べる。教員から、当授業の進め方、何を学ぶか、どのように研究を進めるか、評価方法について説明します。（E1・F1・G1・I1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（210分） 本特殊研究で何を学修するかを考える。また、課題本を読み始める。</p> <p>④復習（30分） 授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えられるポイントとこれに対する自分の感想をノートにまとめる。</p>						
2	<p>①授業テーマ 乃南アサ著『ボクの町』</p> <p>②授業内容 本書について、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べ合う。警察学校を卒業し警察署に配置された青年警察官の活動について説明できるようになる。（E1・F1・G1・I1・K1・K2・L1・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて、新任警察官の勤務の特色について説明します。</p> <p>③予習（240分）</p>						

	<p>本書を読んで、レポート（感想文）を作成して当日提出する（千文字程度。以下同じ）。</p>
3	<p>①授業テーマ 山口秀範著『伏してぞ止まん。ぼく宮本警部です』</p> <p>②授業内容 本書について、その後、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。平成19年に殉職した宮本警部についての事績を説明できるようになる。（E1・F1・G1・I1・K2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて、殉職の意義について説明します。</p> <p>③予習（210分） 本書及び事前配布資料を読んで、感想をまとめる。</p> <p>④復習（30分） 授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えポイントとこれに対する自分の感想をノートにまとめる。</p>
4	<p>①授業テーマ 福島県警察本部監修『福島に生きる 福島を守る』（1）第1、2章</p> <p>②授業内容 本書前半について、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。（E1・F1・G1・I1・K1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（210分） 本書第1、2章を読んで、レポート（感想文）を作成して当日提出する。</p> <p>④復習（30分） 授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えポイントとこれに対する自分の感想をノートにまとめる。</p>
5	<p>①授業テーマ 福島県警察本部監修『福島に生きる 福島を守る』（2）第3～5章</p> <p>②授業内容 本書後半について、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。前回授業と合わせて、東日本大震災に直面した福島県警察職員の体験について語るができるようになる。（E1・F1・G1・I1・K1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（210分） 本書第3～5章を読んで、レポート（感想文）を作成して当日提出する。</p> <p>④復習（30分） 授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えポイントとこれに対する自分の感想をノートにまとめる。</p>
6	<p>①授業テーマ 日大OB現職警察官の話を聞く</p> <p>②授業内容 日大OBの現職から、警察業務の実態について体験談を中心に講義を受ける。研究生は、それぞれ関心のある事項を質問する。（E1・F1・G1・I1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（120分） これまでの研究内容を踏まえ、現職の警察官に質問したい事項を考え整理しておく。</p> <p>④復習（120分） 授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えポイントとこれに対する自分の感想をノートにまとめる。</p>
7	<p>①授業テーマ 警察官の体験記（1）</p> <p>②授業内容 事前配布資料（警察官体験記）について、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。（E1・F1・G1・I1・K1・K2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて、体験記の記載内容、警察官であることの意味を説明します。</p> <p>③予習（210分） 事前配布資料を読んで、レポート（感想文）を作成して当日提出する。</p> <p>④復習（30分） 授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えポイントとこれに対する自分の感想をノートにまとめる。</p>
8	<p>①授業テーマ 警察官の体験記（2）</p> <p>②授業内容 事前配布資料（警察官体験記）について、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。前回授業と合わせて、警察官の多彩な経験と業務について説明できるようになる。</p>

	<p>(E1・F1・G1・I1・K1・K2・L1・M1)</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて、体験記の記載内容、警察官であることの意味を説明します。</p> <p>③予習 (210分) 事前配布資料を読んで、レポート(感想文)を作成して当日提出する。</p> <p>④復習 (30分) 授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えポイントとこれに対する自分の感想をノートにまとめる。</p>
9	<p>①授業テーマ 世田谷警察署訪問</p> <p>②授業内容 世田谷警察署を訪問して、警察署の概要、業務内容等について説明を受ける。研究生は疑問点について積極的に質問する。(E1・F1・G1・I1・K2・L1・M1)</p> <p>③予習 (120分) これまでの研究内容を踏まえ、現職の警察官に質問したい事項を考え整理しておく。</p> <p>④復習 (120分) 授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えポイントとこれに対する自分の感想をノートにまとめる。</p>
10	<p>①授業テーマ 矢野一郎『ゆたかに生きるころのはしら』</p> <p>②授業内容 本書について、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。矢野一郎先生が語った人間の生き方の根本を説明できるようになる。(E1・F1・G1・I1・K1・K2・L1・M1)</p> <p>③予習 (210分) 本書を読んで、レポート(感想文)を作成して当日提出する。但し、今回についてのみ、感想文は事前配布用紙に手書きで筆記して提出すること。</p> <p>④復習 (30分) 授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えポイントとこれに対する自分の感想をノートにまとめる。</p>
11	<p>①授業テーマ 警衛警護活動について</p> <p>②授業内容 担当教員の実務経験(警察庁警備局警護室長等)を踏まえて、警衛警護活動の体験について講義します。研究生は、これに対して関心ある事項について質問を行う。質疑応答を通じて、警衛警護の本質を説明できるようになる。(E1・F1・G1・I1・K2・L1・M1)</p> <p>③予習 (120分) これまでの研究内容を踏まえ、教員に質問したい事項を考え整理しておく。</p> <p>④復習 (120分) 授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えポイントとこれに対する自分の感想をノートにまとめる。</p>
12	<p>①授業テーマ 武藤誠著『明治の炎』(1) 1, 2</p> <p>②授業内容 本書は近代警察の創設者である川路利良についての書であるが、本書前半について、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。(E1・F1・G1・I1・K1・K2・L1・M1)</p> <p>③予習 (210分) 本書前半 1, 2 を読んで、本書中最も賛同する点1点、最も賛同できない点1点を選んで、その理由を含むレポート(感想文)を作成して当日提出する。</p> <p>④復習 (30分) 授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えポイントとこれに対する自分の感想をノートにまとめる。</p>
13	<p>①授業テーマ 武藤誠著『明治の炎』(2) 3</p> <p>②授業内容 本書について、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。前回授業と合わせて、近代警察創設時の創設者の考え方を説明できるようになる。(E1・F1・G1・I1・K1・K2・L1・M1)</p> <p>③予習 (210分) 本書後半 3 を読んで、レポート(感想文)を作成して当日提出する。</p> <p>④復習 (30分)</p>

	<p>授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えポイントとこれに対する自分の感想をノートにまとめる。</p>
14	<p>①授業テーマ 警察活動の経験について</p> <p>②授業内容 担当教員の実務経験を踏まえて、教員が警察活動の体験について、警察官OBの協力を得て講義します。研究生は、これに対して関心ある事項について質問を行う。(E1・F1・G1・I1・K2・L1・M1)</p> <p>③予習(120分) これまでの研究内容を踏まえ、教員に質問したい事項を考え整理しておく。</p> <p>④復習(120分) 授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えポイントとこれに対する自分の感想をノートにまとめる。</p>
15	<p>(15)</p> <p>①授業テーマ まとめと今後の研究方向の検討</p> <p>②授業内容 これまでの授業を踏まえて今期の授業のまとめを行うと共に、今後の研究方向について、各自が報告し、研究生全員で検討を行う。(E1・F1・G1・I1・K2・L1・M1)</p> <p>③予習(120分) 今期の授業を総括しておく。</p> <p>④復習(120分) 授業を踏まえ、今後の研究方向について考える。</p>
関連科目	<p>危機管理基礎演習Ⅱ(RMGT2602)・危機管理特殊研究2(RMGT4542)・危機管理特殊研究3(RMGT4543)・危機管理特殊研究4(RMGT4544) 危機対処に有益な世界観を知るために、インテリジェンス論1(RMGT3527)・インテリジェンス論2(RMGT3534)とも関連します。</p>
教科書	<p>(下記の教科書は、概ね図書館に収蔵されている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乃南アサ『ボクの町』(新潮文庫、2001年) ・山口秀範『伏してぞ止まん。ぼく宮本警部です』(高木書房、2008年)(教員が貸与します) ・福島県警察本部『福島に生きる 福島を守る』(福島県警察互助会、2012年) ・矢野一郎『ゆたかに生きるころのはしら』(社会教育協会、1984年)(教員が貸与します) ・武藤誠『明治の炎』(啓正社、1987年)
参考書・参考URL	
連絡先・オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 連絡先 開講時に告知します。 ■ オフィスアワー 水曜3限。それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントをとることにより研究室で対応します。
研究比率	<ul style="list-style-type: none"> ■ 危機管理領域との対応 災害マネジメント10%;パブリックセキュリティ70%;グローバルセキュリティ10%;情報セキュリティ10% ■ 危機管理と法学のバランス 危機管理学95%;法学5%

